

2017 年度駿河台番組発表会

制作パート総括

1. はじめに

今年度の制作パート長を務めさせていただいた、カンサネです。
今年も3つの映像3作品を制作パートから出しました。相変わらず、今年も、予定通り進んでいない作品がありましたが、70代、71代の皆さまのおかげで、特に技術パートの皆さまのおかげで、無事に作品が流されました。番組発表会は無事に終わりましたが、反省しなければならない点が多いです。こんなに透きだらけの私を支えてくれた28人の制作パート員に感謝しています。ありがとうございました。

2. 作業内容

今年は《MV1・MV2・ドラマ》の3チームに分かれて制作を行いました。当初の予定はMV版が1つで、バラエティー班がある予定でしたが、自分から作りたい作品を作ろう！ということで71代の希望を反映しました。その結果、バラエティーを無くし、その代わりにMV班を増やしました。

チームは 去年より先輩側の人数不足で、70代が1～2名、71代が7～8名所属し、70代が71代をサポートするという体制で進めていきました。

作品の提出は 和泉ボックスのPCのフォルダーで行いました。提出は、完成作品のみ、PCのフォルダーにあげてもらいました。

ここで完成作品とは、監督が完成だと判断した作品を一回YOUTUBEに限定公開(検索不可、URLをもっている人は閲覧可)の状態であげてもらい、そのURLを貼ったLineノートを作製Lineに作ってもらいました。その作品を制作パート長が見て、編集のミス(演出エラー、音声の調整など)を確認し、パート長の確認が通った作品が完成作品として扱われました。(ドラマ班のみ、締め切りの関連でこのシステムを適用することができませんでした。)

スケジュール

5月12日

制作会議

5月16日

企画書〆切

5月23日

企画書提出

5月26日

MV君と夏フェス仮作品提出

5 月 26 日

構成進行パートと共同企画OP撮影

5 月 28 日

MV君と夏フェス作品完成

6 月 5 日

MVWEEK END仮作品提出

6 月 7 日

OP提出

6 月 8 日

MVWEEK END作品完成

6 月 21 日

番組発表会ED提出

6 月 16 日

ドラマチーム完成版提出

6 月 22 日

ドラマ仮完成版提出

6 月 23 日

駿河台番組発表会

3. 撮影に関して

今年度の撮影は、連作の時に71代が既に自発的に教室申請を行っていたので、71代に任せていました。他、去年と違い、学校内撮影が、少なかったなので、撮影の進捗だけを確認しました。

また、今回は番発費から制作費をおろしていただけるということで、MV 君と夏フェスで使った、靴の費用を申請しました。

4. リハーサルに関して

今回、制作パート全体でリハーサルに参加することは一度もありませんでした。

5. 本番について

番発当日は制作パート員としての仕事は特に無いので、希望する制作パート員は美術パートの手伝いをさせてもらいました。

制作パート員が美術パート員として、仕事をするという計画でしたが、上手くできなかったため、来年度に関しては制作パートの人の当日出欠は美宣パート長が管理し、当日シフトを組むことをお勧めします。

当日会場にいるが、仕事がなかった残りのメンバーは裏番会場にて、会場の中継と作品を観ました。

6. 来年度に向けて

今年度の制作パート長の意見として、来年度も制作パートを作ることをお薦めします。

但し、今年のようなミスを防止するために、今年私が感じたことを記録します。

今年は下の代にサポートできるほどの人数(2年生)を確保ができませんでした。その結果、パートのシステムが働かなくなる傾向がありました。2年生の数を確保することを優先したほうがよかったと思います。

制作パートで2年生の能力を発揮させるためには、パート会議の前に、70代のみで1回会議を行い、パ長が決めた内容をまとめて、他の2年生に伝えることが大事だと思いました。

パート長が、OP、ED両方を担当することは、良くないと思いました。作れるか、作れないかではなく、サポートが必要な1年生に目を向ける余裕がなくなります。2年パート員のなかで、担当者を決めるのはどうでしょうか？

ただ私の意見なので その辺に関しては来年度の制作パート長に任せたいと思います。

7. 終わりに

制作パートの皆さん、本当にお世話になりました。

パート長であった私が、いろいろバタバタしてしまい、サポートではなく、迷惑をかけてしまいました。今年、無事に番組発表会が終わったのは、全部制作パート員の皆さまのおかげです。司令部が動いてないのに、立派な作品を作ってくださって、ありがとうございます。尊敬します。そして私の面倒をみてくれた、ほかのパート長たち、委員長・副委員長にも感謝しております。もう一度ありがとうございました！お疲れ様でした！